

## 横浜キングクインジャック巡り報告(2024年03月14日(木))

いささか急ではあったが、ビスターリで『横浜キングクインジャック巡り』を提案した。当日みなとみらい線日本大通り駅にご参集されたのは柳沢さんだけであった。皆さん『トランプ (Trump) なんかやってやれるか、アメリカの政治紛争には首を突っ込まないぞ』とお怒りになったか、又は既に予定が決まっていたのでご参加できなかったかは分かりませんが。兎に角二人で歩いてきました。この案は横浜市の神奈川県庁附近で、県庁舎など三つの建物の塔を同時に遠望できる地点が三ヶ所あると云い、『横浜三塔物語』と言われているようで面白いですよ。

9時半に日本大通り駅に集合して、地下コンコースの「三塔広場」でまず『三塔のレリーフ』を見る、脚下には脚を置く表示板まで埋め込まれている。それから「県庁」の表示のある出口から外に出てみると、交差点の向う角に『横浜市開港記念館』があった。現在、建物修繕のために3月末まで閉館中と。諦めて「みなと大通り」を海方向に歩き、『横浜税関庁舎』を目指す、ここは仕事の性格上か特別の日きり塔に登らせてくれない。

それで9時50分、反対側の正面入口から『神奈川県庁舎』(国指定重要文化財)に入館する、専用エレベーターで6階の屋上に上がる。屋上中央に立派なドーム:『塔』が立っていた。南西方向には『開港記念館』の「ジャックの塔」、北西方向に『税関庁舎』の「クインの塔」が見える。更に北方向には「大栈橋」が望め、遠く北東方向には「横浜ベイブリッジ」が望めた。屋上を一回りしてから同じ6階の「展示室」を覗く、県庁舎の歴史を物語る半ば黄ばんだ写真などが展示されていた。今の庁舎は関東大震災後に建築された第四代目だとか。

県庁舎を出て「日本大通り」の向う側、道路に埋め込まれた「三塔望見場所」の標識を見つけた。第一番目だ。横幅が広くて三塔を一度に視野に入れることはできなかった。ここから「大栈橋」を目指す。栈橋の途中の“「象の鼻」”の様に突き出した防波堤に出てみる、それから10時40分、『大栈橋』の「国際客船ターミナル」の屋根となっている“カマボコ形”の上に登る。この屋根の先端部が「三塔望見場所」(第二番目)だが表示板はなかった。屋根上には結婚記念の写真を撮るために2組のカップルがプロのカメラチームを連れてきていた。突端部では白人の上級船員と、その部下達らしい東洋系かヒスパニック系の男女10数名が集まっていて、その内の一名が上級船員から感謝状或いは表彰状らしき紙を貰っていた。

「大栈橋」から下りて「山下臨港線プロムナード」を通り、「象の鼻パーク」の脇を通って、11時15分に「赤レンガ倉庫1号館」の前に出る。奥の方に進み、海に突き出たデッキの上に第三の「三塔望見場所」を示す表示板が埋め込まれているのを見つけた。ここから戻り、「象の鼻パーク」の手前で『県立歴史博物館』の「エースの塔」のほんの先端部分のみを見つけた。

「山下臨港線プロムナード」を渡って「山下公園」へ向かう。有名な「赤い靴をはいた女の子」の像がある。“可愛い”と撫でる人が多いのだろう、ピカピカになっていた。公園の東の端に『氷川丸』(国指定重要文化財)が係留されている。「アールデコ様式」の内装なので、次回に見に来たいと考えている。

「マリンタワー」の手前まで来て公園を出て、12時に元町中華街駅の近くにある「サイゼリア中華街店」に向かったが「3月4日に閉店」の張り紙が出ていた。止む無く少し長居ができそうな店を探して、中華街入口近くの「サンマルクカフェ」に入った。色々街歩きの計画などの話をして2時間位居座った後、14時過ぎに店を出て、元町中華街駅から帰途に着いた。



ジャックの塔



『神奈川県庁舎』



キングの塔

クインの塔



キングの塔 ジャックの塔 クインの塔 『赤レンガ倉庫前』



「山下公園」の『赤い靴をはいた女の子』



「神奈川県庁舎」前の『三塔表示板』



「赤レンガ倉庫」前の『三塔表示板』